

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

繊細かつドラマティックな音楽で世界を魅了!
“色彩の魔術師”の異名をとるフランスの名匠
シルヴァン・カンブルラン (読響常任指揮者)



華麗でエスプリあふれるフランス音楽名曲選
カンブルラン & 読響、9年間の集大成がここに!

2019 **3.7** Thu.

読売日本交響楽団
第620回 名曲シリーズ
サントリーホール
19時開演
S ¥7,500 A ¥6,500
B ¥5,500 C **SOLD OUT**

POPULAR
SERIES No. 620
Suntory Hall 19:00

2019 **3.9** Sat.

読売日本交響楽団 第110回
みなとみらいホリデー名曲シリーズ
横浜みなとみらいホール
14時開演
S ¥7,500 A ¥6,500
B ¥5,500 C **SOLD OUT**

YOKOHAMA
MINATO MIRAI
HOLIDAY POPULAR
SERIES No. 110
Yokohama Minato Mirai Hall 14:00

Conductor
CAMBRÉLING
Flute Concerto
寄港地 & 海
SILVAIN CAMBRÉLING
IBERT: Esprit français
DEBUSSY (arr. ZENDER): 5 Preludes
SARAH LOUVION
Flute



息を呑むほどに美しく艶やかな音色!
国際的に活躍するフルートの名花
サラ・ルヴィオン (フルート)

イベール: 寄港地
イベール: フルート協奏曲
ドビュッシー (ツェンダー編): 前奏曲集
ドビュッシー: 交響詩「海」

©Christine Schneider

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

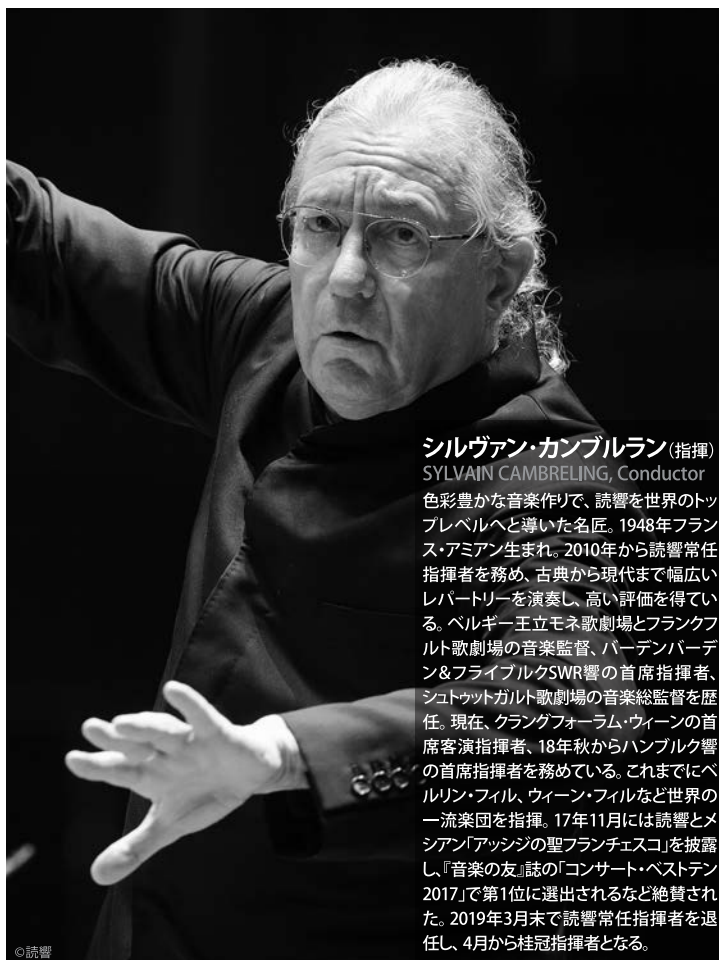
主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: 横浜みなとみらいホール(3/9)

<https://yomikyo.or.jp/>

カンブルラン & 読響、 9年間の集大成。 透明感と生命力に溢れた、極上の「海」

2010年から9年にわたり常任指揮者を務めてきたカンブルランの退任の時が迫っている。常任期間中、最後の来日で指揮するのはカンブルランの勝負曲、ドビュッシーの交響詩「海」だ。

思えば06年、フランスの名匠カンブルランが読響へ初登場した際に指揮したのも「海」だった。この時の演奏で成功を収め、10年にカンブルランは常任指揮者に就任。これまでドイツ系のレパートリーを中心としてきた読響に、カンブルランは色彩感を施し、柔らかく透明感のある音へと研ぎ澄ませていった。カンブルランは、フランス音楽から独特のニュアンスを引き出す秘訣を「音色を構成する二つの要素、透明感と生命力が最も重要」と明かしている。11年11月に再び「海」を演奏した時には、各方面から高い評価を受け、音楽評論家・東条碩夫氏に「カンブルランと読響の今年の演奏の中でも、ベストに挙げていいものだろう・・・オーケストラ全体が見事な均整美を示していた」「昔は奔馬のようだったあの読響が、フランスものをこのようにニュアンス細かく演奏できるようになったのだから、めでたいことである」と絶賛された。その後のカンブルランと読響はフランス音楽にますます磨きをかけ、ドビュッシーの「聖セバ스티アンの殉教」交響的断章を始め、ラヴェル「ラ・ヴァルス」、メシアン作品などで名演奏を築いてきた。



シルヴァン・カンブルラン (指揮)
SYLVAIN CAMBRELING, Conductor
色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得ている。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を歴任。現在、クラングフォーラム・ウィーンの前席客演指揮者、18年秋からハンブルク響の首席指揮者を務めている。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィルなど世界の一流楽団を指揮。17年11月には読響とメシアン「アッジジの聖フランチェスコ」を披露し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位に選出されるなど絶賛された。2019年3月末で読響常任指揮者を退任し、4月から桂冠指揮者となる。

今回、常任指揮者の総仕上げとして3度目の「海」を演奏する。9年間で深めた信頼から生み出される音は、カラフルな光を放ち、生き生きと立体的な波の飛沫となってホールを満たすだろう。カンブルランと読響が築き上げた一時代の証を耳に残し、心に刻んでいただきたい。

前半には、フランス音楽からイベールの代表的な2作品を演奏する。「寄港地」は、吹奏楽でも人気の異国情緒漂う華やかな傑作。終曲では、カスタネットの活気あるリズムで踊りは盛り上がり、打楽器が活躍して興奮は最高潮へと達する。イベールのフルート協奏曲は、目まぐるしく楽想が変化する中、蝶のように軽やかに舞い続けるフルート独奏が特徴的だ。国際的に活躍するフランスの名花サラ・ルヴィオンが煌びやかな音色と完璧なテクニックで聴衆を魅了するだろう。

後半1曲目には、ドビュッシーの有名なピアノ曲「前奏曲集」を、ドイツを代表する作曲家ツェンダーによるオーケストラ版でお聴きいただく。各管楽器の使い方など管弦楽の魅力に溢れた美しい作品。カンブルランらしくプログラムにピリリとスパイスを効かせている。



サラ・ルヴィオン (フルート)
SARAH LOUVION, Flute

輝かしい音色で欧州各地の聴衆を魅了するフルートの名手。2002年からフランクフルト歌劇場管の首席フルート奏者として活躍している。そのほか欧州の楽団にも定期的に客演している。フランス北部生まれ。パリ国立高等音楽院で最優秀賞を得て卒業。神戸国際フルート・コンクール第1位、ジュネーヴ国際コンクール第3位など華々しい受賞歴を誇る。ソリストとしてフランクフルト歌劇場管、リール国立管、トゥールーズ国立室内管、イル・ド・フランス国立管、アムステルダム室内管、モスクワ室内管などと共演。14年にはワルシャワの国際ショパン音楽祭でハーブのドゥ・メストレとモーツァルトの協奏曲を演奏し、絶賛された。カンヌのMIDEM、ブラード音楽祭、コルマル国際音楽祭に招かれるなど国際的に活躍。ファラオ・レーベルなどからCDをリリースし、高い評価を得ている。

読響日本交響楽団 第620回 名曲シリーズ

2019年 **3月7日** (木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **ISOLDI OUT**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読響日本交響楽団 第110回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2019年 **3月9日** (土) 14時開演

横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **ISOLDI OUT**

●東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
●JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザを経由してクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

託児サービス 横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。(株)明日香045-316-5539 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(7日)

横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(9日)